

第5学年 図画工作 年間指導計画 (シラバス)

教科目標

(1) 表現

- ・造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わう。
- ・材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高める。

(2) 鑑賞

- ・作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にす。

学習計画

月	学習すること	学習のねらい	時間
4	1.きょうかしよびじゅつかん よく見てみると	・作品の不思議な見え方に気づき、見え方の理由を考えながら、楽しむことができる。	1
	2.自信をもって「顔」	・自分の顔をよく見て、表情豊かに描き表すことができる。	2
5	ゲートをぬけてゴールイン	・遊び方に合った形を構想し、計画的に製作を進めることができる。	5
6	心に残ったこと	・自分なりの思いを伝えようとする意欲をもち、画面の構成の工夫ができる。	6
7	動くよ動く絵が動く	・つながって変わっていくおもしろさを生かし、自分なりの表し方を工夫できる。	6
9	こんなとき感じること思うこと	・夢中になったときや心に残った場面などを思い出しながら、絵に表すことができる。	6
10	風景画「船越の町」	・遠近感が出るように画面構成の工夫ができる。	8
11	ポスターをくふうして	・メッセージがよく伝わるように、	4
12		デザインすることができる。	

	きょうかしょびじゅつかん 日本のアート	・日本の伝統的な美術（アート）のよさや、現代的な意義について理解することができる。	1
1	コルク伝言板	・作りたいものを構想し、電動糸のこぎりなどの道具を、安全に正しく使って製作することができる。	6
2	卒業式飾り	・目的に合った飾りを考え、友だちと協力して作ることができる。	3
3	作品集	・一年間の学習を振り返りながら作品を大切に作る気持ちを持ち、作品入れを作ることができる。	2
合計授業時数		50時間	